

2009. 3. 21

独立行政法人国立病院機構理事長
矢崎 義雄

病院医療現場からの医療の質向上を目指した景気対策案

I. 地域医療のセイフティネットを中核として支えている病院の課題

① 勤務医の確保対策

- ・ 診療報酬の新たな枠組みによる勤務医の処遇改善－労働儉約型から労働集約型への回帰
- ・ 耐用年限を越えて、なお使用頻度の高い医用機器の更新

② 老朽化した病院の改築

- ・ とくに、徹底した耐震化－災害時の救護施設としての役割
- ・ 病院のエコ投資への支援－太陽光発電など

③ 新型インフルエンザ対策

- ・ 新型インフルエンザ対策などに必要な外来患者のトリアージのための、老朽化した外来棟の改築－感染症 NC の国際医療センター戸山病院、国府台病院など
- ・ 感染症対策に必須の防御医用器具の備蓄
- ・ インフルエンザワクチンの大規模生産のための施設投資の保証

④ 遅れている IT 化への対応

- ・ 診療データが解析できる共通仕様書に基づいたレセコン機器普及のための財政支援
- ・ インターフェースを介してデータが集積する、共通仕様書に基づいた電子カルテ普及のための財政支援

II. 先進医療開発と診療への導入をすすめる治験の促進

- ・ わが国のものづくり技術を活かした医用機器開発の体制づくりと投資の保証
- ・ 治験のための全国規模のネットワークのさらなる整備
- ・ 治験用の外来・病棟を運営できる施設と人員の整備に対する財政支援